

令和6年度
県政モニターアンケート
＜調査結果＞

テーマ：理想とする住まいについて

福岡県建築都市部住宅計画課

理想とする住まいについて

■調査の目的

県民の暮らしを豊かなものにするためには、人生の大半を過ごす欠くことのできない住まいが、家族と暮らし、人を育て、憩い、安らぐことのできる空間であり続けるとともに、社会生活や地域のコミュニティ活動を支える拠点としての役割を果たすことが求められます。

そのためには、こどもから高齢者、単身世帯から家族世帯といった様々なライフステージやライフスタイルに応じた安心して生活できる住まいが確保されていることが重要です。

このため県では、福岡県住生活基本計画（※）に基づき、「共に支えあい 安心して暮らせる魅力豊かな住生活」を目指すべき住生活のすがたと位置づけ、住まいに関する施策を推進しています。

この調査では、理想とする住まいについて皆さんの御意見をお聴かせいただき、課題を整理したうえで、今後の施策の参考とさせていただきたいと思います。

※ 福岡県住生活基本計画とは

- ・福岡県の住生活の安定の確保及び向上の促進に関して基本となる計画です。
- ・社会経済情勢の変化などに対応するため、おおむね5年程度で見直しを行います。
- ・計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間です。

■実施期間

令和6年7月12日～令和6年7月31日

■回答者の構成

項目		計		北九州	福岡	筑後	筑豊
		人数(人)	構成比				
総数	人数	381		96	199	56	30
	構成比		100.0%	25.2%	52.2%	14.7%	7.9%
性別	女性	199	52.2%	51	103	29	16
	男性	179	47.0%	43	95	27	14
	その他	3	0.8%	2	1	0	0
年代別	20代以下	62	16.3%	13	35	9	5
	30代	62	16.3%	17	31	10	4
	40代	81	21.3%	21	41	12	7
	50代	62	16.3%	16	33	10	2
	60代	75	19.7%	22	38	5	10
	70代以上	39	10.2%	7	21	10	1

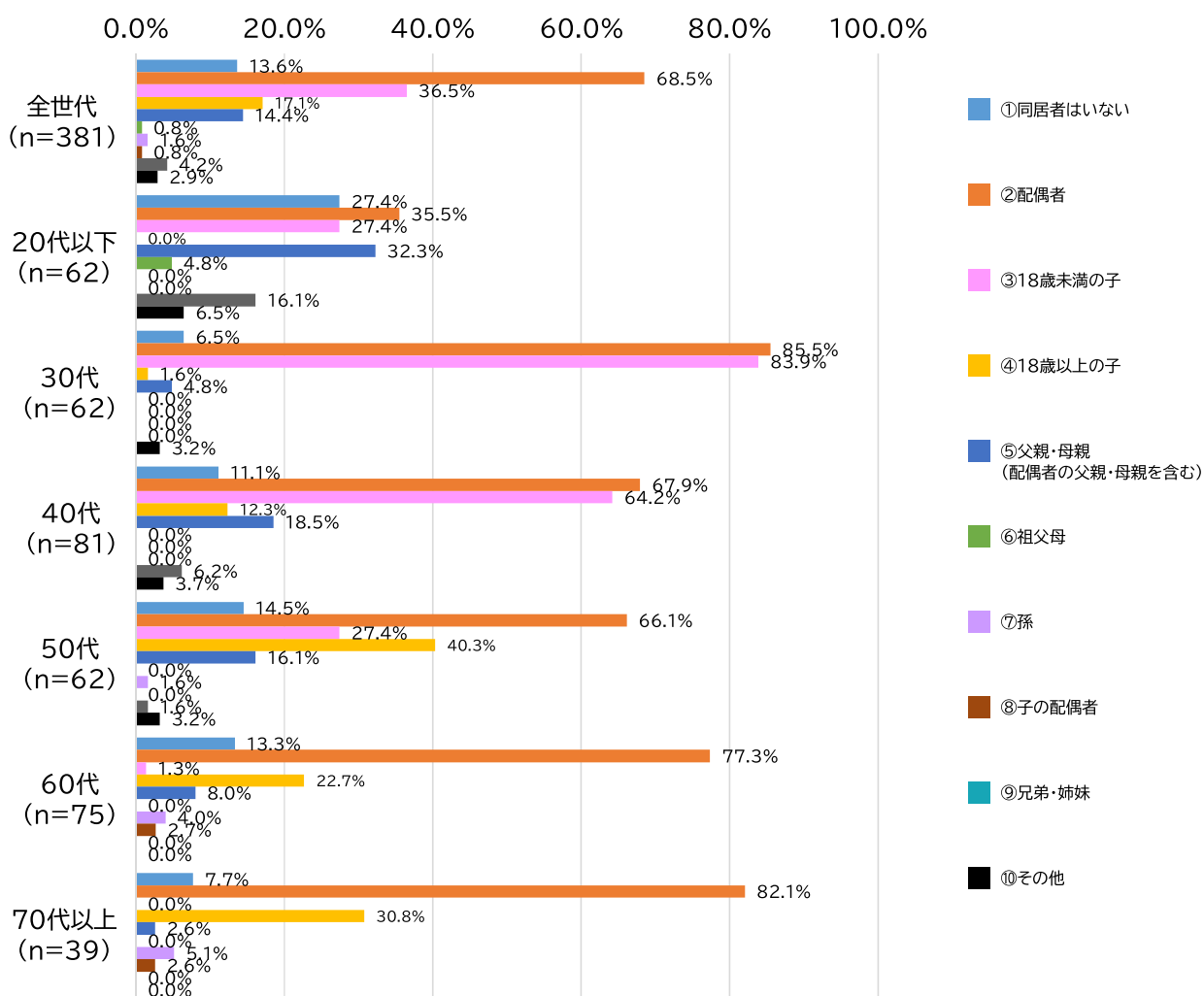
○モニター数 400人
○回答数 381人
○回収率 95.25%

■調査結果

問1 あなたが現在お住まいの住宅において、同居されている方をお教えてください。
次の中から当てはまるものを【全て】選んでください。

現在の住まいにおける同居者

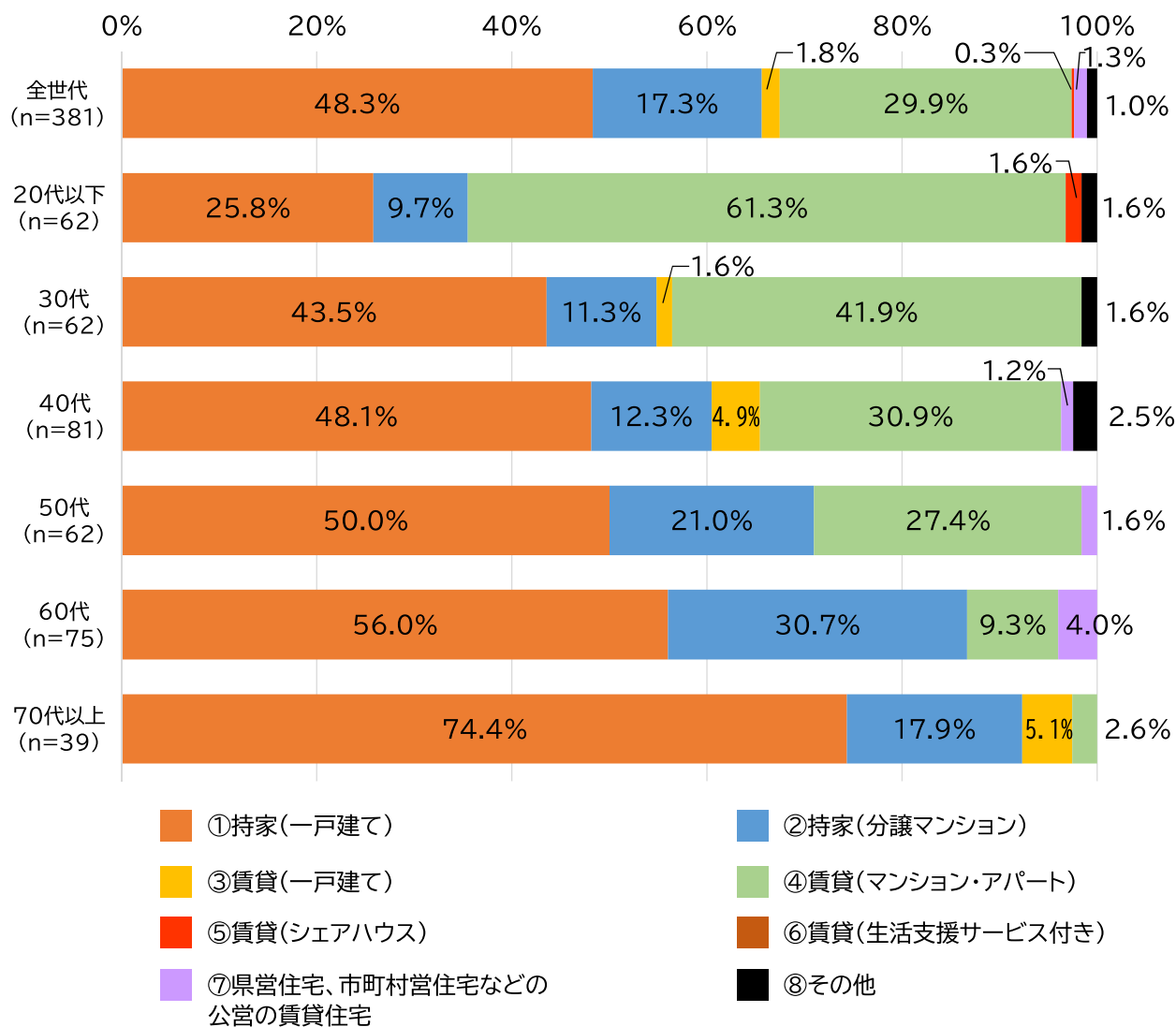
	全世代 (n=381)	年代別					
		20代以下 (n=62)	30代 (n=62)	40代 (n=81)	50代 (n=62)	60代 (n=75)	70代以上 (n=39)
①同居者はいない	52	17	4	9	9	10	3
②配偶者	261	22	53	55	41	58	32
③18歳未満の子	139	17	52	52	17	1	0
④18歳以上の子	65	0	1	10	25	17	12
⑤父親・母親(配偶者の 父親・母親を含む)	55	20	3	15	10	6	1
⑥祖父母	3	3	0	0	0	0	0
⑦孫	6	0	0	0	1	3	2
⑧子の配偶者	3	0	0	0	0	2	1
⑨兄弟・姉妹	16	10	0	5	1	0	0
⑩その他	11	4	2	3	2	0	0



問2 あなたが現在お住まいの住宅は、どの住宅ですか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

現在の住まい

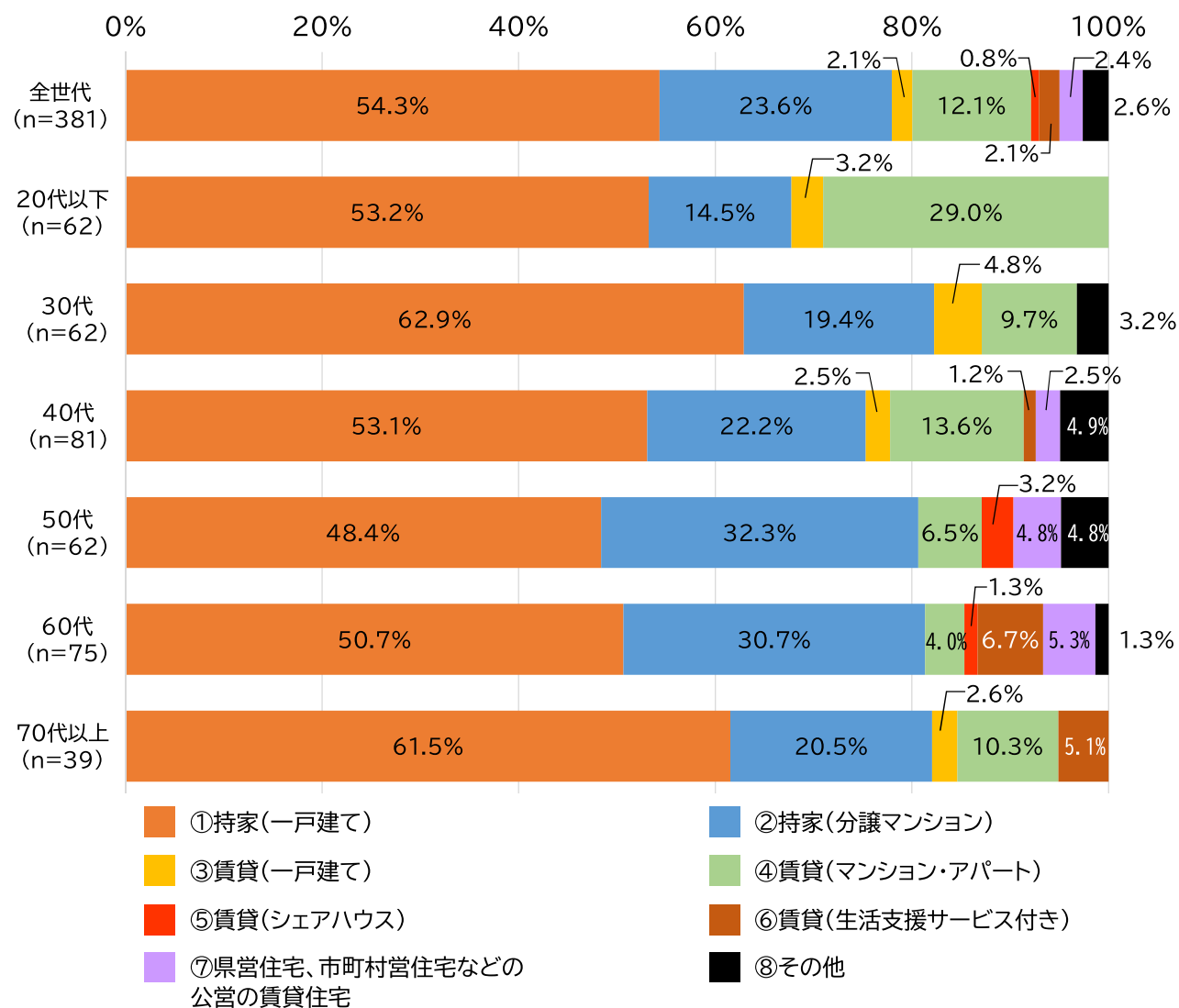
	全世代 (n=381)	年代別					
		20代以下 (n=62)	30代 (n=62)	40代 (n=81)	50代 (n=62)	60代 (n=75)	70代以上 (n=39)
①持家(一戸建て)	184	16	27	39	31	42	29
②持家(分譲マンション)	66	6	7	10	13	23	7
③賃貸(一戸建て)	7	0	1	4	0	0	2
④賃貸(マンション・アパート)	114	38	26	25	17	7	1
⑤賃貸(シェアハウス)	1	1	0	0	0	0	0
⑥賃貸(生活支援サービス付き)	0	0	0	0	0	0	0
⑦県営住宅、市町村営住宅などの公営の賃貸住宅	5	0	0	1	1	3	0
⑧その他	4	1	1	2	0	0	0



問3 あなたは10年後、どの住宅に住みたいですか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

10年後に希望する住まい

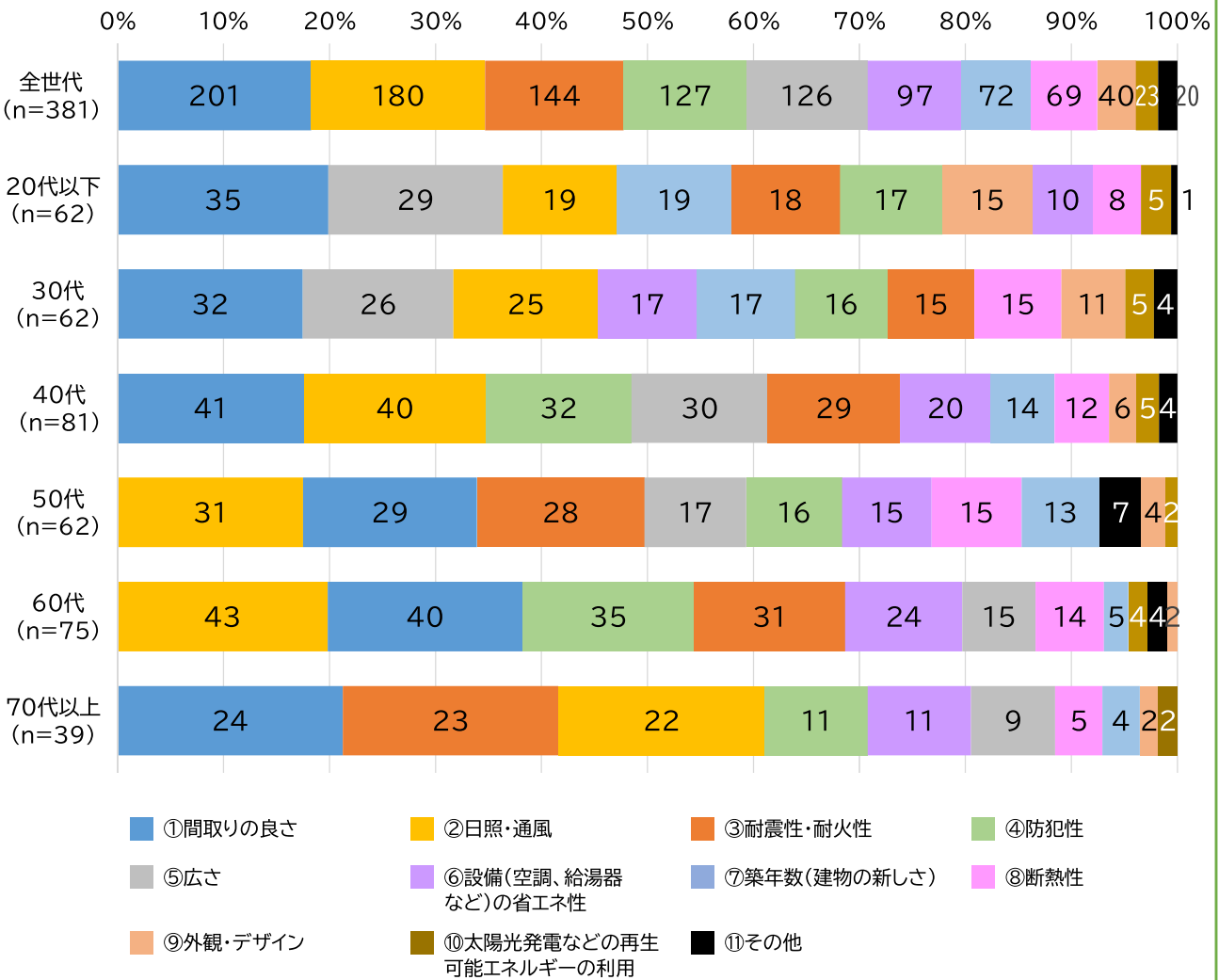
	全世代 (n=381)	年代別					
		20代以下 (n=62)	30代 (n=62)	40代 (n=81)	50代 (n=62)	60代 (n=75)	70代以上 (n=39)
①持家(一戸建て)	207	33	39	43	30	38	24
②持家(分譲マンション)	90	9	12	18	20	23	8
③賃貸(一戸建て)	8	2	3	2	0	0	1
④賃貸(マンション・アパート)	46	18	6	11	4	3	4
⑤賃貸(シェアハウス)	3	0	0	0	2	1	0
⑥賃貸(生活支援サービス付き)	8	0	0	1	0	5	2
⑦県営住宅、市町村営住宅などの公営の賃貸住宅	9	0	0	2	3	4	0
⑧その他	10	0	2	4	3	1	0



問4 あなたが住宅の要素として重視することは何ですか。
次の中から当てはまるものを【3つまで】選んでください。

重視する住宅の要素（年代別集計）

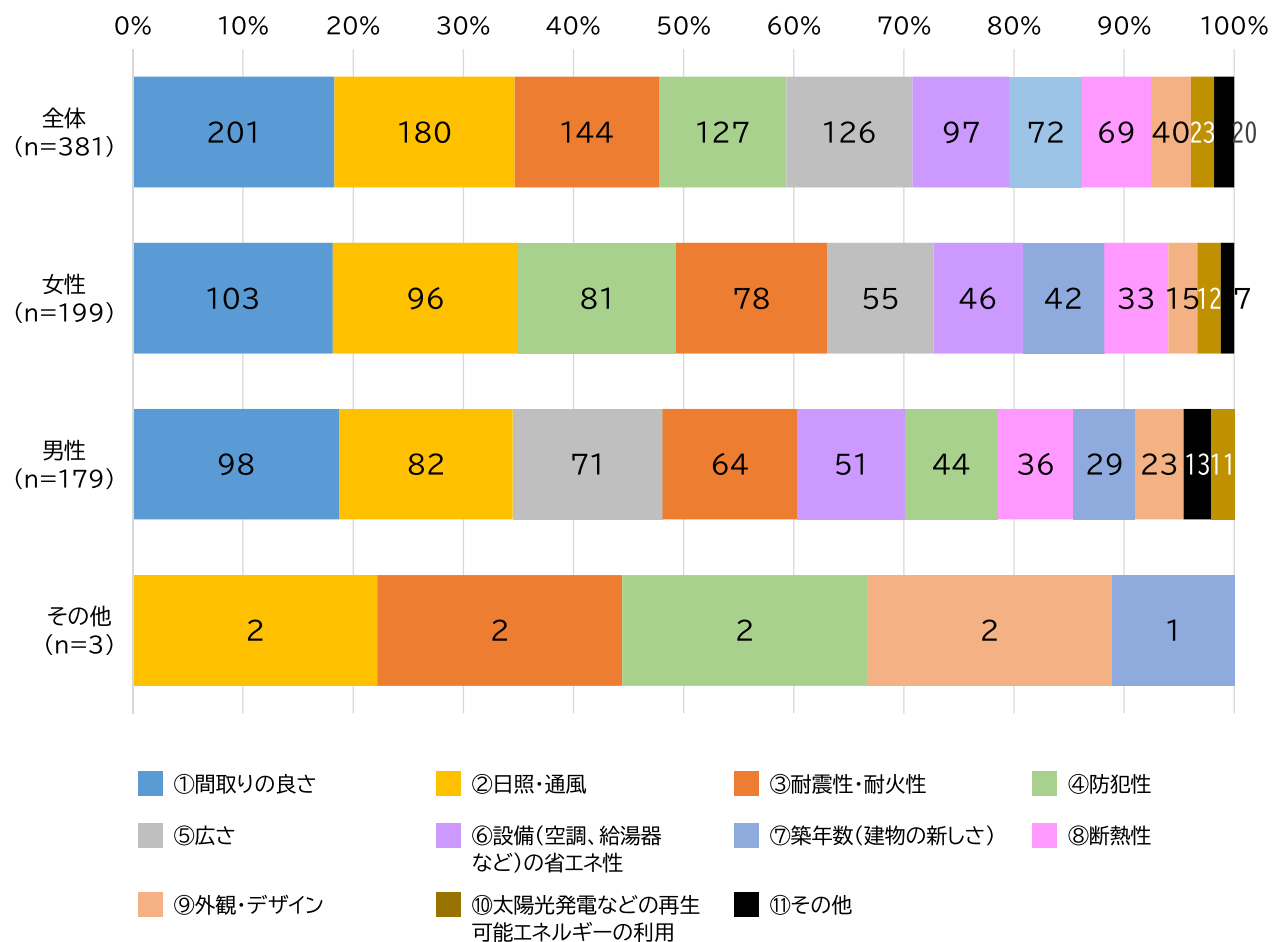
	全世代 (n=381)	年代別					
		20代以下 (n=62)	30代 (n=62)	40代 (n=81)	50代 (n=62)	60代 (n=75)	70代以上 (n=39)
①間取りの良さ	201	35	32	41	29	40	24
②日照・通風	180	19	25	40	31	43	22
③耐震性・耐火性	144	18	15	29	28	31	23
④防犯性	127	17	16	32	16	35	11
⑤広さ	126	29	26	30	17	15	9
⑥設備(空調、給湯器 など)の省エネ性	97	10	17	20	15	24	11
⑦築年数(建物の新しさ)	72	19	17	14	13	5	4
⑧断熱性	69	8	15	12	15	14	5
⑨外観・デザイン	40	15	11	6	4	2	2
⑩太陽光発電などの再生 可能エネルギーの利用	23	5	5	5	2	4	2
⑪その他	20	1	4	4	7	4	0



問4 あなたが住宅の要素として重視することは何ですか。
次の中から当てはまるものを【3つまで】選んでください。

重視する住宅の要素（性別集計）

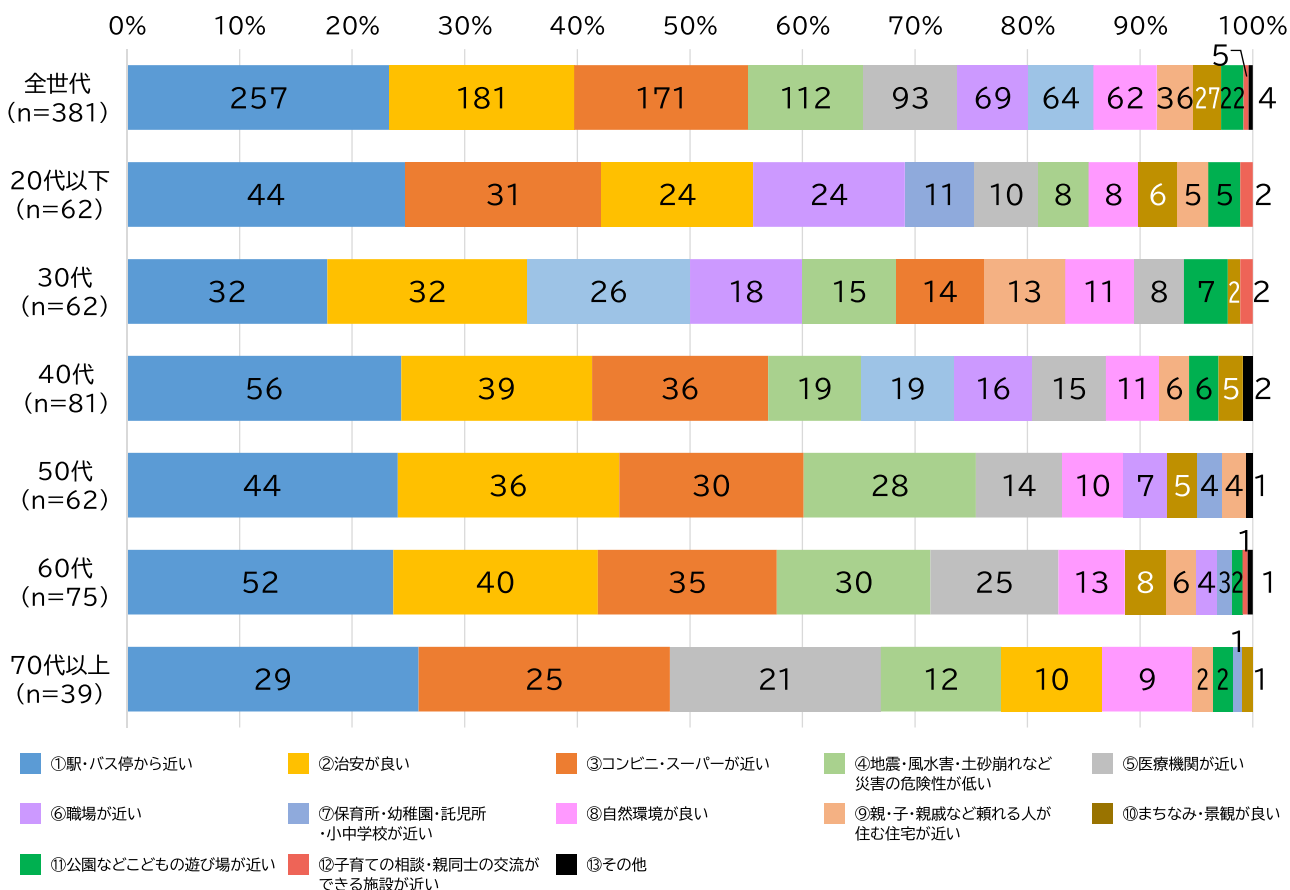
	全体 (n=381)	性別		
		女性 (n=199)	男性 (n=179)	その他 (n=3)
①間取りの良さ	201	103	98	0
②日照・通風	180	96	82	2
③耐震性・耐火性	144	78	64	2
④防犯性	127	81	44	2
⑤広さ	126	55	71	0
⑥設備(空調、給湯器など)の省エネ性	97	46	51	0
⑦築年数(建物の新しさ)	72	42	29	1
⑧断熱性	69	33	36	0
⑨外観・デザイン	40	15	23	2
⑩太陽光発電などの再生可能エネルギーの利用	23	12	11	0
⑪その他	20	7	13	0



問5 あなたが住宅のまわりの環境として重視することは何ですか。
次の中から当てはまるものを【3つまで】選んでください。

重視する住宅のまわりの要素（年代別集計）

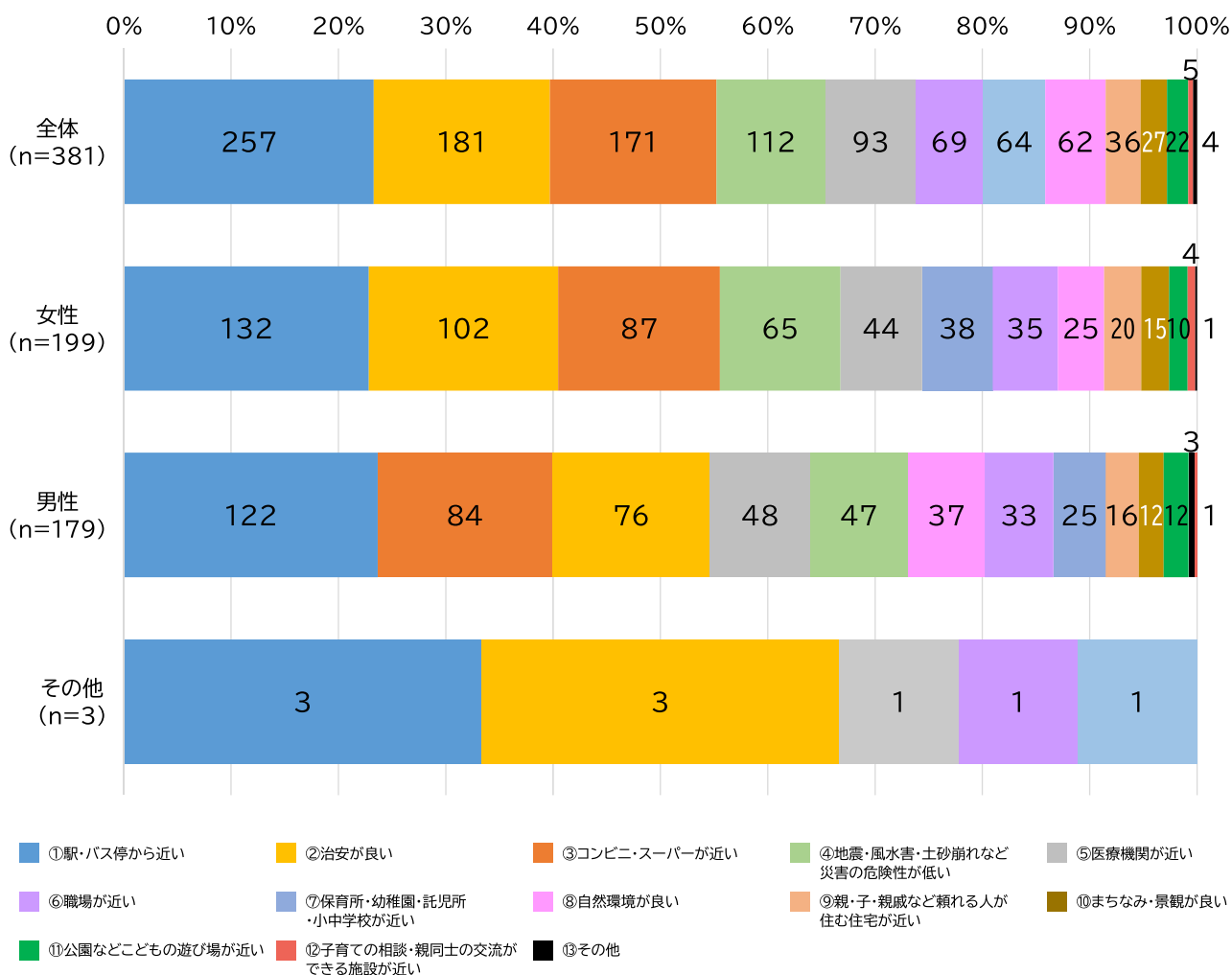
	全世代 (n=381)	年代別					
		20代以下 (n=62)	30代 (n=62)	40代 (n=81)	50代 (n=62)	60代 (n=75)	70代以上 (n=39)
①駅・バス停から近い	257	44	32	56	44	52	29
②治安が良い	181	24	32	39	36	40	10
③コンビニ・スーパーが近い	171	31	14	36	30	35	25
④地震・風水害・土砂崩れ など災害の危険性が低い	112	8	15	19	28	30	12
⑤医療機関が近い	93	10	8	15	14	25	21
⑥職場が近い	69	24	18	16	7	4	0
⑦保育所・幼稚園・託児所・ 小中学校が近い	64	11	26	19	4	3	1
⑧自然環境が良い	62	8	11	11	10	13	9
⑨親・子・親戚など頼れる人 が住む住宅が近い	36	5	13	6	4	6	2
⑩まちなみ・景観が良い	27	6	2	5	5	8	1
⑪公園などこどもの遊び場 が近い	22	5	7	6	0	2	2
⑫子育ての相談・親同士の 交流ができる施設が近い	5	2	2	0	0	1	0
⑬その他	4	0	0	2	1	1	0



問5 あなたが住宅のまわりの環境として重視することは何ですか。
次の中から当てはまるものを【3つまで】選んでください。

重視する住宅のまわりの要素（性別集計）

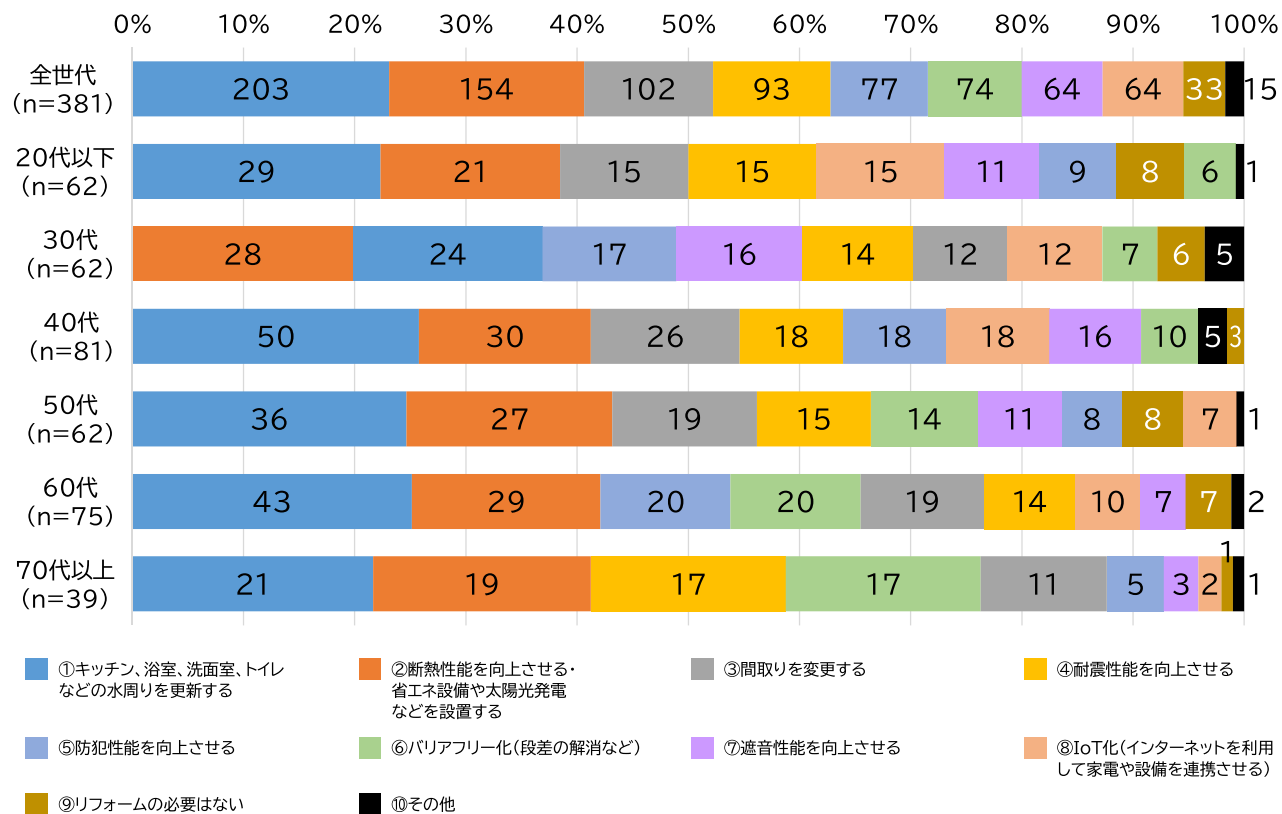
	全体 (n=381)	性別		
		女性 (n=199)	男性 (n=179)	その他 (n=3)
①駅・バス停から近い	257	132	122	3
②治安が良い	181	102	76	3
③コンビニ・スーパーが近い	171	87	84	0
④地震・風水害・土砂崩れなど災害の危険性が低い	112	65	47	0
⑤医療機関が近い	93	44	48	1
⑥職場が近い	69	35	33	1
⑦保育所・幼稚園・託児所・小中学校が近い	64	38	25	1
⑧自然環境が良い	62	25	37	0
⑨親・子・親戚など頼れる人が住む住宅が近い	36	20	16	0
⑩まちなみ・景観が良い	27	15	12	0
⑪公園などこどもの遊び場が近い	22	10	12	0
⑫子育ての相談・親同士の交流ができる施設が近い	5	4	1	0
⑬その他	4	1	3	0



問6 あなたが現在お住まいの住宅の性能を向上させるリフォームをするとしたら、どのようなリフォームを行いたいですか。
 (賃貸住宅にお住まいの方は、どのようなリフォームを行って欲しいですか。)
 次の中から当てはまるものを【3つまで】選んでください。

現在の住まいで行いたいリフォーム（年代別集計）

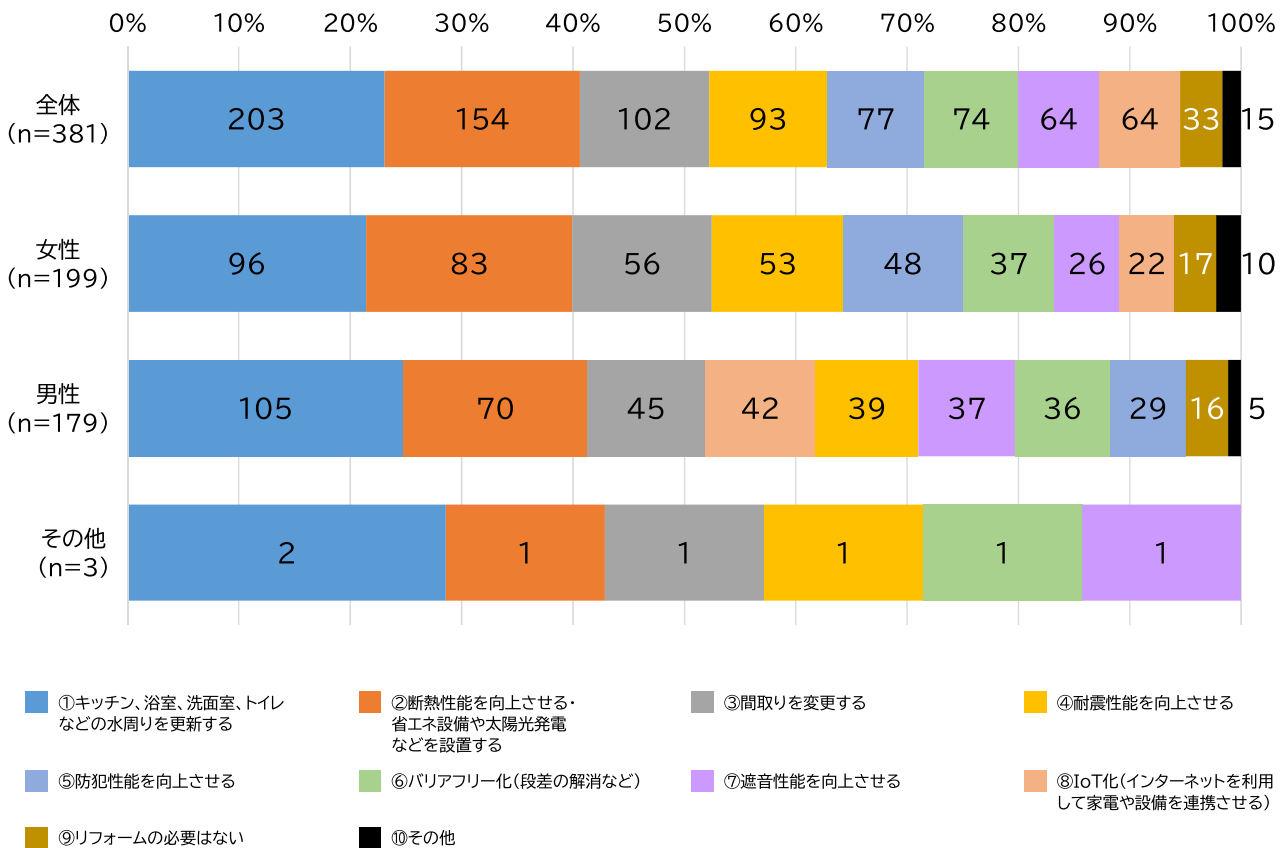
	全世代 (n=381)	年代別					
		20代以下 (n=62)	30代 (n=62)	40代 (n=81)	50代 (n=62)	60代 (n=75)	70代以上 (n=39)
①キッチン、浴室、洗面室、トイレなどの水周りを更新する	203	29	24	50	36	43	21
②断熱性能を向上させる・省エネ設備や太陽光発電などを設置する	154	21	28	30	27	29	19
③間取りを変更する	102	15	12	26	19	19	11
④耐震性能を向上させる	93	15	14	18	15	14	17
⑤防犯性能を向上させる	77	9	17	18	8	20	5
⑥バリアフリー化(段差の解消など)	74	6	7	10	14	20	17
⑦遮音性能を向上させる	64	11	16	16	11	7	3
⑧IoT化(インターネットを利用して家電や設備を連携させる)	64	15	12	18	7	10	2
⑨リフォームの必要はない	33	8	6	3	8	7	1
⑩その他	15	1	5	5	1	2	1



問6 あなたが現在お住まいの住宅の性能を向上させるリフォームをするとしたら、どのようなリフォームを行いたいですか。
 (賃貸住宅にお住まいの方は、どのようなリフォームを行って欲しいですか。)
 次の中から当てはまるものを【3つまで】選んでください。

現在の住まいで行いたいリフォーム（性別集計）

	全体 (n=381)	性別		
		女性 (n=199)	男性 (n=179)	その他 (n=3)
①キッチン、浴室、洗面室、トイレなどの水周りを更新する	203	96	105	2
②断熱性能を向上させる・省エネ設備や太陽光発電などを設置する	154	83	70	1
③間取りを変更する	102	56	45	1
④耐震性能を向上させる	93	53	39	1
⑤防犯性能を向上させる	77	48	29	0
⑥バリアフリー化(段差の解消など)	74	37	36	1
⑦遮音性能を向上させる	64	26	37	1
⑧IoT化(インターネットを利用して家電や設備を連携させる)	64	22	42	0
⑨リフォームの必要はない	33	17	16	0
⑩その他	15	10	5	0



問7 理想とする住まいについて、これまでの設問以外に意見がありますか。
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。（自由記述）

〔意見（抜粋）〕

- ・賃貸でも地域の自治会参加必須など、近所に知り合いが多く作れる環境作りが必要だと思う。
- ・電気代高騰のため、断熱性を重視すべき。
- ・高齢者に魅力のある、かつ子育てしやすい住環境が望ましい。
- ・住居も単体で理想的な住居を実現しようとするより、さまざまなニーズに対応した多様な供給ができることが望ましいと考える。
- ・地球温暖化が進んでいる。高齢化も進む。生活する上で、最低限の命を守るための備えは、基本装備として建築基準を定めるなどの法を整備して欲しい。
- ・利便性、住機能、安全性、外観など住まいに対する理想や要求は個別多様であると思うが、人口減少化社会においてまず大事なことはコンパクトシティを実現し、維持可能な社会をつくることだと思う。
- ・暮らしやすい住まいにするため、リフォームに対しての補助金制度や自分で出来る工夫など有用な情報について広報して欲しい。
- ・人口が減少することを考えると、コンパクトな街づくり、生活しやすく便利なまちづくりをすすめることが重要。
- ・人口減少、高齢化に伴い空き家が増えると思う。そのため、空き家を上手く活用するための広報を行う。
- ・水回り設備の補助により更新が進めば、生活が快適かつ豊かになっていくと思う。
- ・豊かな自然や日照、十分なスペースの部屋、防災等の不安に対応できる住まいがあれば良い。経済的に苦しい方々が如何なる時も安心して利用できる賃貸の住まいがあれば良いと思う。
- ・空き家の売却や相続の仕方、リノベーションして若い世代に使ってもらうことや民泊の方法などレクチャーしてくれる機会があったら良いと思う。
- ・どの家にも防音設備があると良い。自分が住んでいる環境だけでも快適で、騒音トラブルがなければ、その他の騒音に寛容になれるのではないかな。
- ・多子世帯のための増築などの支援金があると、マイホームを持つ夫婦の出生率向上に繋がるのではないかな。
- ・家族構成によって求める居住空間は変わる。
- ・今後高齢になることを考えると、歩道が狭くなく、坂道や段差がない地域が第一と考える。
- ・立地も大事だが、子育てがしやすい所に住みたい。
- ・物価高騰で新築戸建ての購入が年々難しくなっているため、施策や補助等を行って欲しい。
- ・高齢化社会に対応するために、新しく計画するマンションやアパートにも、バリアフリー機能がある程度装備した基準を設けるようにしてほしい。
- ・今後は、古い家をリサイクルして次の人が継続して使っていくような形に変えていくべき。
- ・年間通じてエアコンを使う必要がなく、水は井戸水、野菜も作れる庭がある家が良い。
- ・家庭菜園ができる庭がある家が良い。
- ・リフォームに興味はあるが詐欺もよく耳にする。介護も始まっていないので、どこにどんなことを頼んでよいのか分からない。そういう情報を発信してもらえると心強い。
- ・そのときのライフスタイルにあった部屋がすぐ見つければ、住みやすくなると思う。
- ・今後も建築基準法に則った建物を建築していくことが必要と思う。
- ・水害、山崩れ、地盤軟弱地域からの安全な場所への移住対策が必要と思う。
- ・ライフステージに追従して住まいを簡単に換えられる仕組みがあればよいと思う。
- ・料理を作る家庭はそれなりにキッチンの水回りの利便性や快適な動線がとれるかで、毎日のストレスが変わってくると思う。
- ・地価、建設費が高騰していて、一軒家を持ちたくてもハードルが高くなっている。少子化対策として住宅助成が手厚いと助かる。
- ・マンションの建て替え・空き家対策に柔軟な対応ができる法整備を早急に進めるべき。

- ・マンション等の集合住宅には、福祉車両が利用しやすい駐車スペースの確保を義務化してもらいたい。
- ・永く住み続けるため、最初からトイレや浴室の出入口は幅広にする。また、ドアやクローゼットの扉はスライド式にする。
- ・安全、安心で生活に便利な住まいが理想だと思う。
- ・年を重ねても住める住まいが理想です。
- ・環境と地域の方達とのコミュニケーションが重要だと思う。
- ・何を優先するのかというのはその人の仕事だったり家族構成にもよる。単身者と大家族では全く違うだろう。
- ・必要経費である光熱費や固定資産税、税金が比較して高額でない場所での暮らしが理想。
- ・県内で建物の老朽化が目立つところある。古い建物の整備、また一極集中型の住環境から、空き家などを再利用することも考えていかなければならないと思う。
- ・家を建てる年齢によって条件が異なる。
- ・電気代が高くなっている今、全ての家に太陽光設置を義務化させ、その設置費用の補助金を出したら良いと思う。
- ・環境、コミュニティーを含めて安全、安心に明るく、心豊かに生活できれば良い。
- ・一昔前までは、三世帯同居が普通の暮らしで、今でもそれが理想の暮らしだと思う。
- ・自治体活動や子供会など近所の人たちと触れ合える環境が良い。家そのものは必ず古くなるのでそれを補う心の充足感が大事だと思う。
- ・騒音問題は行政や社会全体がもっと力を入れて取り組むべき問題と考える。地方に広がる広大な土地を有効活用して人口を分散をすることが望ましいと思う。
- ・ライフステージによって理想とする住まいは変化していく。住まいの失敗談や、その対処法などを共有できる環境があると助かると思う。
- ・一戸建ての賃貸物件が増えればよいと思う。
- ・若者が家を建築するのも難しい世の中になっているので、なかなか難しいとは思いますが、将来のことを考えると、Uターン世帯に対して二世帯住宅化の補助等を自治体と合同でしたらどうかと思う。脱炭素社会に資する住まいづくりの実現は、新しい住宅の省エネではなく、あくまで既存住宅の利用を一番に進めるべきだと思う。今まで過ごしてきたコミュニティの中で生活するのが一番だと思うので、民間が運営する福祉施設ではなく、地域のみんなで助け合いながら共同で過ごすシェアハウスの設置が望ましいと思う。
- ・コンパクトな都市計画の見直しが将来的に必要で、マンションの建築の認可もこの点を考慮していく必要がある。
- ・空き家が多く存在するので、田畑を住宅地に変えて新築を立て続けるのは止めるべき。
- ・空き家が増えてきているが、その空き家を少し安い価格で地域のボランティア団体などが利用するために借りることで良いと思う。行政が間に入ってもらえると安心して利用できると思う。
- ・太陽光と蓄電池の容量を大きくし自給自足の生活が出来るような設備を整える。
- ・人工知能（AI）が老後の私たちをサポートできる実用的な機器を取り付け・購入できれば、より理想の住まいとなる。
- ・近年は地震や豪雨災害が頻発している。まずは安心に暮らせるための災害に強い住宅を建築する必要があると思う。
- ・地域コミュニティの充実（地域住民の連携）。